

みずほマーケット・トピック(2024年8月30日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

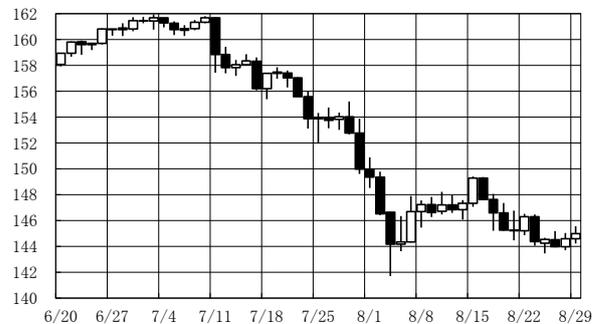
※「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

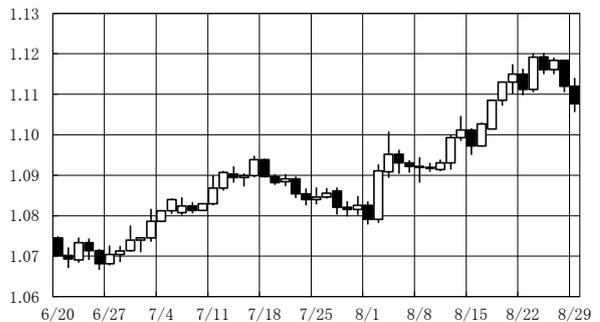
- 今週のドル/円は米金利上昇を背景に堅調に推移した。週初26日、143.92円でオープンしたドル/円は、先週末からのドル売り地合いが継続し、一時週安値の143.45円まで下落。海外時間は、米金利上昇を受けて144円台半ばに反発した。27日、ドル/円は米金利続伸を背景に145円を目指す展開。海外時間は、145円台に乗せてスタートするも、堅調な米国債入札の結果などを受けた米金利低下が重しとなり、144円を割り込んで反落した。28日、ドル/円はドル買い相場の中で、144円台半ばに上昇。海外時間は、米金利反転上昇を受け145円に乗せる場面もあったが、その後は伸び悩んで144円台後半を中心に方向感なく推移した。29日、ドル/円は日本株の底堅い動きや米金利上昇を横目に、144円台半ばから後半でじり高。海外時間は、米新規失業保険申請件数に加え、米4~6月期GDP(改定値)における個人消費の強い結果を受け米金利が急伸。結果ドル買いが加速し、一時週高値の145.55円に上伸した。その後は米金利が上昇幅を縮小する中で、145円付近に値を下げて引けた。本日のドル/円は、引き続き144円台後半で取引されている。
- 今週のユーロ/ドルは年初来高値を更新後、独金利低下を受け水準を切り下げた。週初26日、1.1190でオープンしたユーロ/ドルは、東京時間に昨年7月以来の高値となる1.1201までじり高。その後海外時間にかけては、米金利上昇が重しとなり1.11台半ばに反落した。27日、ユーロ/ドルは1.1170を中心としたもみ合い推移の後、米金利低下に伴うドル売りにサポートされて、1.12手前まで上昇した。28日、ユーロ/ドルは米独金利差の拡大が嫌気され、1.11付近に軟化した。29日、ユーロ/ドルは1.11台半ばに小幅高も、欧州各国の8月消費者物価指数(CPI、速報)の弱い結果を受けた欧州金利低下に加え、複数の強い米経済指標を受けた米金利上昇も重しとなり、一時週安値となる1.1056に反落した。その後は小反発も上値は重く、1.10台後半で引けている。本日のユーロ/ドルは、引き続き1.10台後半で取引されている。

		前週末	今 週			
		8/23(Fri)	8/26(Mon)	8/27(Tue)	8/28(Wed)	8/29(Thu)
ドル/円	東京9:00	146.21	143.92	144.49	143.98	144.46
	High	146.48	144.65	145.16	145.03	145.55
	Low	144.05	143.45	143.92	143.69	144.22
	NY 17:00	144.41	144.52	143.97	144.58	144.99
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1115	1.1190	1.1164	1.1175	1.1125
	High	1.1201	1.1201	1.1190	1.1184	1.1139
	Low	1.1106	1.1150	1.1150	1.1105	1.1056
	NY 17:00	1.1193	1.1161	1.1184	1.1120	1.1077
ユーロ/円	東京9:00	162.57	161.10	161.30	160.97	160.58
	High	162.68	161.44	162.16	161.33	161.27
	Low	161.23	160.52	160.90	160.50	160.08
	NY 17:00	161.57	161.28	161.02	160.79	160.65
日経平均株価	38,364.27	38,110.22	38,288.62	38,371.76	38,362.53	
TOPIX	2,684.72	2,661.41	2,680.80	2,692.12	2,693.02	
NYダウ工業株30種平均	41,175.08	41,240.52	41,250.50	41,091.42	41,335.05	
NASDAQ	17,877.79	17,725.77	17,754.82	17,556.03	17,516.43	
日本10年債	0.89%	0.88%	0.88%	0.89%	0.89%	
米国10年債	3.79%	3.82%	3.83%	3.84%	3.86%	
原油価格(WTI)	74.83	77.42	75.53	74.52	75.91	
金(NY)	2,546.30	2,555.20	2,552.90	2,537.80	2,560.30	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、9月6日(金)に8月雇用統計が公表予定となっている。前回7月分の結果は、非農業部門雇用者数が+11.4万人(前月比、以下同様)と、6月(修正後:+17.9万人)からは伸びが減速し、市場予想(+17.5万人)を下回った。また、失業率は4.3%となり、市場予想および6月の4.1%を上回った。加えて、平均時給は+0.2%と市場予想および6月の+0.3%を下回った。所謂サムルール(失業率の3か月移動平均が過去12か月の最低水準を上回ると、景気後退入りする)への抵触が注目を集め、統計公表直後にはFRBに対する利下げ期待が急加速した経緯もある。かかる中で市場の注目を集めたジャクソンホール経済シンポジウムにおいてパウエルFRB議長は、労働市場がパンデミック前の状態に戻ったこと、一層の労働市場の冷え込みを許容しないことを明言するなど、総じてハト派な情報発信を行った。FRBがインフレから雇用へのその重心を移しつつある中、当面は雇用統計への注目度は一層高まるだろう。なお、8月の結果に関しブルームバーグの事前予想では、非農業部門雇用者数を+16.5万人、失業率を4.2%、平均時給を+0.3%と見込んでいる。

	本 邦	海 外
8月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 7月失業率/有効求人倍率 8月東京消費者物価指数 7月鉱工業生産(速報) 7月小売売上高 7月住宅着工件数 	<ul style="list-style-type: none"> ユーロ圏8月消費者物価指数(速報) ユーロ圏7月失業率 米7月個人所得/支出 米7月個人消費支出デフレーター 米8月シガン大学消費者マインド(確報)
9月2日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 4~6月期設備投資 8月製造業PMI(確報) 	<ul style="list-style-type: none"> ユーロ圏8月製造業PMI(確報)
3日(火)	—————	<ul style="list-style-type: none"> 米8月製造業PMI(確報) 米8月ISM製造業景気指数
4日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 8月非製造業PMI(確報) 	<ul style="list-style-type: none"> ユーロ圏8月非製造業PMI(確報) ユーロ圏7月生産者物価指数 米7月貿易収支 米7月JOLT求人件数 米7月製造業受注 米ページブック公表
5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 7月毎月勤労統計 	<ul style="list-style-type: none"> 独7月製造業受注 ユーロ圏7月小売売上高 米8月ADP雇用統計 米8月ISM非製造業景気指数
6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 7月家計支出 7月景気動向指数(速報) 	<ul style="list-style-type: none"> 独7月鉱工業生産 独7月貿易収支 ユーロ圏4~6月期GDP(確報) 米8月雇用統計

【当面の主要行事日程(2024年9月~)】

- 自民党総裁選(9月12日告示、9月27日開票)
- ECB政策理事会(9月12日、10月17日、12月12日)
- FOMC(9月17~18日、11月6~7日、12月17~18日)
- 日銀金融政策決定会合(9月19~20日、10月30~31日、12月18~19日)

金融市場部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2024年8月29日	日銀の自然利子率推計について～「中立金利1%」説～
2024年8月27日	ドル売りの持続性は？～買われるユーロ、英ポンド、円～
2024年8月26日	パウエル講演を受けて～気になる労働市場への評価～
2024年8月23日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて～ユーロ相場の先行きについて～)
2024年8月21日	円ロングの積み上げが続くリスクはあるのか
2024年8月20日	企業買収を通じた対内直接投資の現状について
2024年8月19日	財PPP vs. サービスPPP～正しいのは円安か、円高か～
2024年8月16日	週末版(欧州経済の現状について～人手不足から需要不足へ～)
2024年8月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年7月分)
	ポスト岸田の考え方～金融政策の大勢に影響なし～
2024年8月14日	24年上半期の需給環境について～ほぼ均衡～
2024年8月13日	投機が去った円相場～注目は「家計の円売り」へ～
2024年8月9日	週末版(「円安バブル」報道について②～2005-07年との比較分析～)
2024年8月8日	「円安バブル」報道について①～05-07年との比較分析～
2024年8月2日	週末版(「日銀は変わった」はいつまで続くか～「やっぱり変わってなかった」の怖さ～)
2024年8月1日	日銀会合を受けて～ドル/円相場の考え方～
2024年7月25日	週末版
2024年7月24日	インバウンド、「量」から「質」の意味するもの
2024年7月23日	バイデン撤退も市場動かさず～円ショートは依然膨大～
2024年7月19日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「資金は必ず下がる」という自信～)
2024年7月18日	日銀会合プレビュー～円高だからこそ利上げ～
2024年7月17日	進むインフレ税による財政再建～資金循環統計～
2024年7月16日	復活しつつある「インフレの輸入」～利上げへの追い風～
2024年7月12日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年6月分)
	週末版(金利差に騒がない大事さ～問題は投機が去った後～)
2024年7月11日	株価、「正真正銘のバブル超え」の読み方
2024年7月10日	最近の円相場の需給環境について
2024年7月8日	米大統領選挙、現時点の解釈～為替市場の視点～
2024年7月4日	円安功罪論について～総論と各論を分けるべし～
2024年7月3日	短観(6月調査)が意味するもの～利上げは可能か～
2024年7月2日	フランス政局の行方と金融市場への影響
2024年7月1日	24年上半期を終えて～円は正真正銘の最弱通貨～
2024年6月28日	週末版
2024年6月27日	家計金融資産の現状～外貨比率は最高値更新へ～
2024年6月25日	「隠れ円安」への正しい理解～実効円安を見る努力を～
2024年6月24日	為替政策報告書～日本のリスト入りは形式上の不備～
2024年6月21日	週末版(欧州委員会による財政是正措置勧告～フランス極右政党 vs. 欧州委員会～)
2024年6月19日	本邦5月貿易収支を受けて～思ったよりも減らない赤字～
2024年6月18日	久しぶりの欧州政治騒動～27年まで波乱無しが基本に～
2024年6月17日	日銀金融政策決定会合を終えて～上がる期待値～
2024年6月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年5月分)
	週末版
2024年6月13日	FOMCを終えて～中立金利上昇と為替見直し～
2024年6月12日	既に前年実績を超えてしまった「家計の円売り」
2024年6月11日	懸念される旅行収支黒字の頭打ちという未来
2024年6月10日	円相場の需給環境について～4月までの総括～
2024年6月7日	週末版(ECB政策理事会を終えて～利下げ局面入りへ～)
2024年6月5日	証券投資は巻き返すか？～収益率で考える未来～
2024年6月4日	敢えて考える対内直接投資促進の「負の側面」
2024年6月3日	強含む経済指標に囲まれるECB～ユーロ相場の考え方～
2024年5月31日	週末版
2024年5月29日	虚しく響く「33年連続、世界最大の対外純資産国」の肩書き
2024年5月28日	「This time is different」は利上げ予告か～内田講演～
2024年5月27日	加速したユーロ圏妥結賃金とECBブログの言い分
2024年5月24日	週末版
2024年5月23日	金利差縮小でも円安修正は進まず～議事要旨を受けて～
2024年5月22日	「もしトラ」で注目される欧州の立ち回り
2024年5月21日	ユーロ圏経済の近況～「底入れ」という不都合な真実～
2024年5月20日	垣間見えたECBの「次の一手」～ECB理事インタビュー～
2024年5月17日	週末版(色濃くなるスタグフレーションの様相～窮屈になる日銀の政策環境～)
2024年5月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年4月分)
	円安抑止の処方箋～即効性と持続性のトレードオフ～
2024年5月14日	通貨政策化する金融政策～定着する「為替との戦い」～
2024年5月13日	1～3月期国際収支統計～需給改善を確認～
2024年5月10日	週末版
2024年5月9日	遂にインフレ税が始まったのか？～円安と債務～
2024年5月8日	FRBの「次の一手」と円相場の予想パスについて
2024年5月7日	円安抑止の処方箋～NISA国内投資枠～
2024年5月2日	週末版(レバトリ減税について～「5%の摩擦」に拘るべき～)
2024年4月30日	日銀が回避した為替との戦い、今後のリスク
2024年4月26日	週末版
2024年4月25日	トランプ氏と為替～結局、何も考えていない？～
2024年4月23日	世界経済の下方シフトの背景にあるもの～IMF分析～
2024年4月22日	ドル高是正の国際協調に機は熟せず～G20とドル高～
2024年4月19日	週末版
2024年4月18日	IMF世界経済見直しを受けて～またも「分断」はテーマに～
2024年4月17日	前途多難な貿易収支～待たれる電源構成の変化～
2024年4月16日	最悪のシナリオは米利上げ再開～中東リスクと円安
2024年4月15日	依然赤字圏のCFベース経常収支～原油価格騰勢の足音～
2024年4月12日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年3月分)
	週末版(ECB政策理事会を受けて～6月利下げはほぼ既定路線へ～)
2024年4月11日	「でこぼこ道」が「再燃の入口」か～米3月CPIを受けて～
2024年4月10日	過去最高ペースだった「家計の円売り」～Q1を終えて～
2024年4月9日	対内直投のキーワードは「資本はアジア、業種は金融・保険業」へ
2024年4月8日	独歩安だった円相場～第1四半期振り返り～
2024年4月5日	週末版
2024年4月4日	ECBは6月利下げに向けて第一関門突破
2024年4月3日	外貨準備構成通貨の近況について(2023年12月末時点)
2024年4月2日	デジタル強国アイルランドの存在感をどう考えるか？
2024年4月1日	デジタル赤字は日本だけの問題なのか？
2024年3月29日	週末版
2024年3月27日	円安・円高双方のリスクになる連続利上げ